

2019 激動を味方にするリーダー像



柳井 正
ファーストリテイリング
会長 兼 社長

人々が物質的で豊かな時代を追い求めた時代は終わり、衣料品業界では過去の常識だった大量生産・消費型のシステムも終焉を迎えた。サステナビリティの概念は大きな注目を集めている。



ピーター・ブラベック
-レッツマット
ネスレ
名誉会長

ミレニアル世代（1980～2000年代生まれ）が最も重要な消費者になっている。体の健康だけでなく地球の「健康」にも関心を持ち、環境の持続可能性を心配している。



タン・フィリン
クラブ
共同創業者

利用者が何かしたいと思えば様々なサービスにたどり着ける「スーパーアプリ」で国際機関や各国の大手企業、地方政府などと連携し、未来の都市をどう計画していくかを考えていく。

2018 激変に打ち勝つ経営力



魚谷 雅彦
資生堂
社長 兼 CEO

「メイド・イン・ジャパン」商品は世界で評価されているが、各地の事情に合わせた現地化も求められる。地域ごとの縦割り組織では機能せず、ますます組織のグローバル化が重要になってくる。



トニー・フェルナンデス
エアアジア・グループ
CEO

国際宅配サービスは、一度見直す必要があるかもしれない。ブロックチェーンを使うことで、トレーサビリティを確保しながら新たな物流サービスができる。



ディーナ・アラフタ・カスコ
マリメッコ
社長 兼 CEO

デジタル化が進み、消費者の好みやニーズを細かく理解できるようになった。ブランドと消費者が一緒になって欲しい商品を生み出すことが大切だ。